

大阪湾再生表彰制度 第3回『魚庭の海』賞

資料3

受賞団体の紹介

団体名 【活動名称】	活動内容
<p>兵庫県立尼崎小田高校 “尼崎に青い海を取り戻す挑戦 ～大阪湾再生の取組～”</p>	<p>尼崎港や尼崎運河の水質調査を行うことで、現環境を把握し、水質浄化の方法を二枚貝の附着性の高い材質検討や貝の浄化能力について実験し、尼崎運河の水質浄化プランを考察。また、同じ大阪湾の環境について取り組んでいる兵庫県の高校のフォーラムを主催して開くことで、大阪湾環境に向けての高校生の輪を広げようと試みている。</p>
<p>特定非営利活動法人 アマモ種子バンク “「なぎさ海道」 アマモ場再生プロジェクト”</p>	<p>アマモ種子の採取、播種、育苗、移植など一連のアマモ場再生活動を、播磨灘～大阪湾～紀州灘を結ぶ「なぎさ海道」沿岸部の子ども達の環境体験学習を実施。また地域住民の地域活性化事業として「なぎさ海道」に沿った市民活動団体のアマモ場再生ネットワークを構築していくことを目標としている。この活動の中で「なぎさ海道」への理解と海域環境保全の意識向上を図る。</p>
<p>チーム御前浜・香櫨園浜 里浜づくり “御前浜・香櫨園浜をよりよい未来に継承する 里浜づくり”</p>	<p>御前浜・香櫨園浜をよりよい形で未来に継承する里浜づくりに向けて、この浜からゴミを出さない！漂着したゴミはこの浜でストップする！を目標に浜の清掃や除草、雑草の刈り取りを行い景観や環境を守るとともに、環境学習・出前講座を通じて素晴らしい環境を多くの人に親しんでもらい環境を守ることの大切さを伝える。</p>
<p>ウォーターステーション琵琶の会 “琵琶湖から大阪湾へ、命の水を繋げる”</p>	<p>「下流にきれいな水を流す」という目的のもと、水環境保全活動や清掃活動、普及啓発などを実施。琵琶湖から大阪湾までの流域を意識して琵琶湖・淀川流域に関わる団体・組織をつなぐ取り組みをおこない、多様な主体が連携した「森・川・海のネットワーク」の構築へむけての活動を展開</p>
<p>大阪コミュニケーションアート専門学校 “大阪湾を中心とした瀬戸内海東部地域におけるスナメリの調査・保全活動”</p>	<p>瀬戸内海東部に位置する大阪湾とそれに隣接する播磨灘において、スナメリの生息状況を把握するための調査実施。瀬戸内海とそこに生息するスナメリの保全に微力ながら貢献。調査海域におけるスナメリの分布と密度およびそれらの季節変化などを明らかにするとともに、成果を社会に発信し、スナメリとそれを取り巻く環境の保全に対する市民の意識啓発を促す。</p>

【外部審査委員】大阪大学大学院：西田修三教授
京都女子大学大学院：榎村久子教授

詳細資料は、大阪湾再生推進会議ホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/suishin/index800.html>

大阪湾再生表彰制度 『魚庭の海』賞

第3回 魚庭の海賞で実施したこと……

第3回「魚庭の海」賞

第2回「魚庭の海」賞
応募団体への
個別ヒアリング

第3回

- ◆第2次選考を兼ねた**発表会**へ
(活動内容を他の団体にも知ってもらう)
- ◆発表会後に**意見交換会**
(NPOや企業が交流できる場を提供)

大阪大学西田教授と京都女子大学榎村教授が話題提供



【発表会】



【意見交換会(フリーストーク)】

応募団体及び過去の受賞者や推進会議構成機関の参加による発表会・意見交換会とした(約40名)